

学励コース「医療専攻」たより



新潟県立新潟西高等学校 Vol.9 平成29年3月1日

医療業務に携わる人材(看護師・保健師・医療検査技師・診療放射線技師等)育成のための進学指導を行います。→ 新潟大学医学部保健学科、新潟県立看護大学、新潟医療福祉大学、新潟青陵大学等の進学を目指します。

〇2月14日(火) 医療講演会 講師：正木 光裕 先生 新潟医療福祉大学 医療技術学部 理学療法学科 演題：『医療分野に関わる専門職、チーム医療って何?』

来年度に、本校医療専攻を希望する1学年学励コース14名の生徒が受講しました。1年生次には3回の医療講演会が計画されていますが今回はその最終回でした。5月からはいよいよ本格始動です。



【穏やかに話しされる正木先生】



【講師紹介・・・1年生なので緊張しました】

【プログラム】

- ① 4人一組のチームで自己紹介をしましょう
- ② 医療分野に関わる専門職を確認しましょう
- ③ チーム医療って何?
- ④ リハビリテーションスタッフ
- ⑤ 4人一組のグループで役割を決めましょう
- ⑥ 子どもの運動発達
- ⑦ 脳に障害をもつ子ども
- ⑧ 「司会者」の役割
- ⑨ チーム医療に必要な連携とは?



【4人一組でのグループ活動】



【担当役ごとの発言風景】

【生徒の感想】

医療の仕事の中では、様々な専門職の人たちが、影で支えていることが分かりました。病気やけがを治す以外にも、精神的な治療やマッサージなどがあり、素晴らしいと思いました。僕の祖父も脳卒中で倒れ、麻痺が残り、今もリハビリを頑張っています。リハビリテーションスタッフの話をお聞きしましたが、患者さんの社会復帰のために手や足を刺激しているそうです。難しいことですが、患者さんとともに頑張りたいと思いました。今日の講演会で、医療の世界には自分の知らなかった仕事がたくさんあり、いろいろな仕事の内容に興味を持つことができました。
(男子・診療放射線技師志望)

正木先生の講演会では、クイズや話し合いがたくさんあって、わかりやすく、面白かったです。自分が知りたかった医療に関する様々な職業の具体的な内容について、グループで考えることができるとても勉強になりました。「いもっこグループ」と「坂井輪グループ」が、総合点で20点を超えたので、びっくりしました。また、人と関わる仕事には、コミュニケーション力が大切なのだと思いました。今日の講演をお聴きして、やはり医療系の仕事はステキだなと感じました。これから、夢の実現のためにも勉強を頑張っていきたいと思いました。(女子・看護師志望)

4人一組になって、チーム医療というものが、どのようなものなのかを学びました。それぞれの役割で、どうすれば患者さんが良くなるのか考えて、司会をする医師役は、まとめる人として話し合いを進めていきました。また、他の専門職でも、自分の得意とする能力を生かすことが大切だということも分かりました。実際に自分たちでチームの話し合いをすることで、チーム医療について、詳しく知ることができました。私は、看護師志望ですが、理学療法士にも少し興味を持ちました。さらに、新しく学んだこともあり、将来の仕事に生かしたいと思います。
(女子・看護師志望)

平成28年度 「第4回医療専攻発表会」 御案内

- 1 目的： 「医療専攻」第4期生として、1年生～2年生の医療専攻プログラムを通して学習したこと・考えたことを各人が発表し、将来、医療従事者として活躍する決意を新たにします。
- 2 日時・場所： 平成29年3月27日(月) 新潟西高等学校
第1部 13:00～14:40 視聴覚教室(特別教室棟4階)
第2部 14:50～15:30 社会科教室(特別教室棟3階)
- 3 内容： 第1部 パワーポイントを使っの生徒12名の口頭発表会(100分)
挨拶・御紹介等10分 + 発表60分(5分×12人) + 講評30分
第2部 ポスターセッション(40分)
- 4 参加者： (講評) 新潟大学医学部保健学科 看護学専攻 有森 直子 教授
(発表) 2年生学励コース医療専攻生徒 12名
(招待) 発表者の保護者、今まで講演・見学を依頼した大学及び病院の関係者、『医療専攻たより』を発送している中学校関係者、本校PTA役員・後援会役員・学校評議員、報道各社をお招きして実施します。